

<金標準、中国、1月の香港経由の純金輸入は69%増・・・>



(出所：オアシス)

JP モルガンは、2026 年まで金価格について強気の姿勢を堅持しており、金への構造的な分散投資トレンドが継続すると見ており、金価格にはさらなる上昇余地があると指摘し、金価格の長期予測を 1 オンス当たり 4500 ドルに引き上げた一方、2026 年末の予測は 6300 ドルに据え置いている。また香港国勢調査統計局の金料データによると、1 月の香港を通じた中国の純金輸入は 12 月から 68.7%増加し、また中国の香港経由の金輸入総量は 1 月に 36544 トンに達し、12 月の 28014 トンから 30.4%増加している。

特に今週は、IAEA 理事会、米国とイランの核協議が行われる予定であり、イランの高濃縮ウランの取り扱いでトランプ大統領は「テロ支援国家に核は持たせない」と言及しており、一つ間違えればイランへの攻撃が勃発する可能性は高まっている。そのため地政学的なリスクの高まりやリスク逃避の需要が衰えていないだけに、金標準先物は 27000 円を回復しながら 28000 円を伺う展開が続くように思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が上昇し、シグナルも切り上げている。RCI は短期が上昇し、長期も上昇している。特に日足が指数平滑移動平均線のレンジを上回り、基調は強気へ傾いた状態を続けていると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 3,279,000 円(2026 年 3 月 2 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 129,360 円(2026 年 3 月 2 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>